

平成 26 年 8 月 25 日

石原第二保育園

病児保育担当

鈴木・青木

つくしんぼだより 9月号

自由登園も終わりお休み中の楽しかった思い出を話す子どもたちの会話がたくさん聞こえてきます。まだ残暑はありますが、朝夕は涼しくなってきたので、気温の変化で体調を崩さないように気をつけましょう。

夏のあそびと体力づくり



保育園では、暑さに負けない体力づくりをめざして、プール・水浴び・泥あそびなど夏ならではの遊びを積極的に行い、子どもたちの楽しい声が園庭いっぱい響き渡っています。水に触れることで皮膚を丈夫にし、心肺機能も高めます。もうすぐ9月。プール遊びから運動会の練習へと変わります。まだまだ残暑厳しいですが、夏の疲れ、熱中症など体調管理に配慮していきたいと思えます。

9月9日は救急の日



9月9日は、救急の日です。写真は保育園の救急箱です。運動会の練習が始まるとケガをする子が増えてきます。園では、すり傷、切り傷、かき壊しなどの傷の対応等に、消毒薬・絆創膏・ガーゼ(小・中)・テープ、とげが刺さった時のピンセット、虫さされの薬、体温計など常備しています。この機会に家庭の救急用品をチェックしてみましょう。古い薬は処分し、新しいものを補充しましょう。

爪(つめ)について

爪(つめ)が伸びていると、虫さされを掻き壊したり、友だちを引っかいてしまったり、折れたりなどと、ケガの原因となります。また爪は、汚れが溜まり不潔になりやすいところにもかかわらず、指しゃぶりや爪をかむくせがある子も多く、汚れたままにしておくとばい菌を直接取り込んでしまいます。週に一度は指先のチェックを行うようにしましょう。

爪のはたらき

指先を保護したり、手の平側からの感触を受け止めたりする他にも、爪から健康状態を知ることができます。爪全体の色が紫色をしていたり、白くにごっていたり、すじや溝ができている場合は病気の可能性もあるので、気になる場合は病院へ行きましょう。

爪ケアのポイント

爪の手入れの目安は1週間に1回程度です。お風呂上りのやわらかいときが切りやすいのですが、きり過ぎるとばい菌が入ることもあるので深爪にならないよう、十分に気をつけましょう。

秋に流行る病気 伝染性紅班(りんご病)

頬がりんごのように赤くなることから「りんごほっぺ病」の別名も持つ疾患で、ヒトパルボウイルスの感染によって起こります。潜伏期間は4~21日です。他者へ感染しうる期間も潜伏期の範囲内で、発症した時は他者への感染力は失われています。

症状 両頬、ときに耳たぶまでが赤くなります。同時に腕や大腿部に赤いレースのような網目模様の発疹が広がります。発疹は3~4日が最も鮮やかで、多くの場合1週間程度で消退しますが、ときに1カ月近く続く場合もあります。発疹の部位に一致してほてりやかゆみを感じることもあります。熱は出ない場合が多く、発熱しても37.5℃程度の微熱で、咳や頭痛、のどの痛み、関節痛を訴えることがあります。

治療と経過 特異的な治療法はありません。全身状態がよければ登園が可能です。

今月のつくしんぼ室利用状況 発熱と嘔気 1名 発熱と下痢 1名